

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	高山市
共同提案者名	阿多粕小水力発電（株）、旗鈴小水力発電（株）、飛騨高山小水力発電（株）、阿多野郷・野麦小水力発電（株）、井上小水力発電（株）、塩屋小水力発電（株）、上青屋小水力発電（株）、久手観光開発（株）、濃飛乗合自動車（株）、奥飛観光開発（株）、名古屋鉄道（株）、飛騨高山電力（株）、中部電力パワーグリッド（株）高山支社、（一社）CoIU設立基金、（株）井上工務店
選定回	第4回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	中心市街地・住宅地再生、収益の利益還元
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	市街地（オフィス街・業務ビル、商店街・商業施設等）
創出する再エネの種類・導入技術等	バイオマス発電（木質）、水力発電、熱利用（木質）、その他（合意形成の手法）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{0.4353428}{102,828} (\%) + \frac{0}{0} (\%) \right) \div \frac{23,620,005}{23,620,005} (\text{kWh/年}) = 0.4353428 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相对契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	1,438	8,409,224			65,724		65,724		28.5	
	その他	29	377,045					0			
民生・業務その他	オフィスビル	136	2,875,722					0			
	商業施設	83	1,597,657			4,044		4,044		1.8	
	宿泊施設	32	4,365,473					0			
	その他	154	2,355,046			10,116		10,116		4.4	
公共	公共施設	55	3,639,838			22,944		22,944		10.0	
	その他	0	0					0			
合計			23,620,005	0	0	102,828	0	102,828	0	44.7	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	904	147						1,051

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
5	10	30	50	70	100

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	17,000,000	161,000,000	33,000,000	8,100,000	28,800,000	437,000,000	0
	累計		0	17,000,000	178,000,000	211,000,000	219,100,000	247,900,000	684,900,000	684,900,000
実績	単年度		0	140,534	2,787,478					
	累計		0	140,534	2,928,012					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：ウェルビーイング（幸福度）調査結果

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	①6 ②65% ③72%	①6 ②65% ③72%	①6.5 ②70% ③75%	調査未実施	①7 ②75% ③80%	調査未実施	調査未実施
	累計		0	①6 ②65% ③72%	①6 ②65% ③72%	①6.5 ②70% ③75%	調査未実施	①7 ②75% ③80%	調査未実施	調査未実施
実績	単年度		0	調査未実施	調査準備中					
	累計		0	調査未実施	調査準備中					

①「将来1年間について、ご自分の生活にどの程度期待感がありますか」平均スコア（10段階）（令和4年現在 5.79）

②「生きがいをどのくらい感じていますか」感じている・多少感じているの割合（令和4年現在 64.7%）

③「あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか」愛着がある・まあ愛着があるの割合（令和4年現在 71.4%）

■指標②：地域協働型で新規開発される発電所数（単位：か所）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	0	2	2	2	3
	累計		0	0	0	0	2	4	6	9
実績	単年度		0	0	1					
	累計		0	0	1					

■指標③：類型1・類型2以外での電力契約件数ならびに電力供給量（単位：町内会）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	0	2	2	2	3
	累計		0	0	0	0	2	4	6	9
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山電力（株）と既存の小水力発電所2箇所（阿多野、野麦）の立地町内会や新穂高町内会等へ電力切替のお願いに回ったが、契約件数（需要家）が23件（102,828 k Wh/年）であった。（共通KPI 令和7年度算出根拠：2,982,012円（102,828 k Wh/年×29円）－140,534円（令和6年度）＝2,787,478円） ・ウェルビーイング調査（交付金対象外）は、令和7年度中の実施に向けて準備を進めている。 ・脱炭素先行地域外では、令和7年5月、奥飛騨小水力発電（株）が地域住民や地元の企業等と協働で地域貢献型の外ヶ谷小水力発電所（FIT：585 k w）を整備したが、地元町内会への再エネ電力供給は、実施されていない。
------	--

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

- ・R7.10.18環境省主催の地域脱炭素フォーラム2025 in名古屋において、高山市の清水副市長がパネリストとして、高山市の2050市全域ゼロカーボンの取り組みを紹介し、浅尾前環境大臣より「横展開を期待する」とのコメントをいただいた事を重く受け止めている。
- ・自治体内においては、交付金を活用した特設HP、セミナー、シンポジウム、チラシ、動画、冊子の作成・活用に加え、市広報や市HPへの掲載、市主催の研修会開催、地元中学校での出前講座等、今後も着実かつ丁寧な取り組みを進めていきたい。
- ・自治体外においては、福井県池田町や坂井市、広島県北広島町など、交付金を活用した小水力発電所や木質バイオマス発電所を建設予定の自治体からの問合せや岐阜県が令和8年度に行う小水力発電所20候補地を選定するための調査、アドバイザー派遣の予算要求に係る問い合わせに協力している。
- ・今後は、自治体等からの視察、自治体以外からの取材や講演依頼にも、可能な限り対応し、高山市の取り組みを横展開していきたい。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

- ・高山市第九次総合計画（R7～R16）、高山市環境基本計画（R7～R16）、第二次高山市地球温暖化対策地域推進計画（R3～R12）において、脱炭素社会の実現を位置付けており、令和7年10月には、脱炭素化（2050市全域ゼロカーボンの実現）に向けた将来像（添付ファイル参照）を策定した。
- ・市民や市内事業者による再生可能エネルギーの地産地消を促進するため、小水力発電所及び木質バイオマス発電所の建設を支援する新制度を創設（令和6年度（2024年度））し、令和7年度（2025年度）から申込受付を開始している。
- ・2050市全域ゼロカーボンの実現に向けて、水素の利活用やモビリティの電動化、卒FIT電力等を活用した再エネ電力の市内供給等を推進し、地域協働型の飛騨高山モデルや再生可能エネルギーの地産地消を波及させる事で、脱炭素化と同時に地域経済循環を実現したい。